

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成12年度	根拠法令・例規等	介護保険法、備前市介護保険条例、備前市介護保険条例施行規則
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問 担当課(室) 介護福祉課 合 職・氏名 介護保険係長・眞野なぎさ 電 話 0869-64-1828 このシート作成に要した時間 5.0 時間
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目	施策	05	介護保険	
事務事業名		01	介護保険制度運営事業		

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	国・県・市内の担当部署ほか/介護保険被保険者・要介護(支援)認定者及びその家族	
目的(何のために)	介護保険事業及び保険財政の運営に係る業務を執行するため。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	介護保険事業の運営を円滑に行う。また、住み慣れた地域で生活を行っていくための地域密着型サービスを充実させる。	

事業の実績		Do		
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	介護保険総務管理事業	介護保険事業を円滑に運営できるように、諸事務経費の確保と地域密着型サービスの整備を推進する。		
	連合会負担金事務	保険給付関係の事務処理を国民健康保険団体連合会へ委託していることによる負担金支払事務。		
	償還金事務(国・県)	国・県・支払基金等の介護給付費負担金等の過年度分を9月に予算化、12月から3月間に精算する。		
	一般会計繰出金事務	一般会計から介護保険特別会計への繰出金を精算し、9月に予算化する。		

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績			
	事業費	直接事業費	千円	64,253	33,864	33,149			
	必要人員	人員件費	千円	0.75人	6,840	0.23人	2,216	0.28人	2,646
	事業費	費計	千円	71,093	36,080	35,795			
	財源	国	県支出金	千円	39,410				
		受益者負担	金						
		繰入金	市	千円	7,745	9,303	7,067		
		その他( )	一般財源	千円	23,938	26,777	28,728		
	受益者負担比率	%		-	-	-			

結果指標	結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	不適切給付の取下げ件数	件	47	26	24
	対前年比	%	-	55.3%	92.3%
	活動コスト	円	143,310	148,078	150,458
	単位当たりコスト	円	3,049	5,695	6,269

事業の成果		成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
介護保険事業費見込と実績値(円)	目標値(A)			3,085,628,000	3,234,025,000	3,415,158,000	3,659,002,000
	実績値(B)			2,918,581,714	3,095,874,045	3,171,965,182	到達目標値
	達成率(B/A)			94.59%	95.73%	92.88%	3,867,590,000
成果指標設定の考え方・式や説明							
備前市高齢者保健福祉計画・備前市介護保険事業計画で立てた介護保険事業費の見込(目標値)と実績値。達成率が高いほど計画通りに事業が行われたことになる。							

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  A
	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C
	市民参画度		

進行年度(H25年度)の改革改善内容								
状況	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		
説明	平成25年度は、第5期介護保険計画の中間年にあたる。24年度で選定した小規模多機能居宅介護事業所の開設が10月に予定されていることから、事業所運営に対し指導・助言を行い、地域密着型サービスの周知と充実を図っていく。							

総合評価		総合評価
平成24年度は、給付費が計画見込額の92.88%と前年度に比べて2.85ポイント下回った(増床した特別養護老人ホーム等の給付費等が見込みを下回ったなどの理由)。しかし、給付費自体は前年度に比べて増額しており、適正な事業の運営により財源確保に今後も努めていく必要がある。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C

平成26年度の方向性・取組目標		Action							
方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了	
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了			
取組目標	平成26年度は第6期介護保険計画の策定年度となるため、第5期計画の検証を十分に行い、より健全な介護保険事業運営が行えるように努める。								

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

が事業の目的やその留意点に留意し、有効性を評価